

国分寺市にふるさとをつくる会

231号

令和3年6月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 白木 昭憲

〒185-0024 東京都国分寺市泉町 2-6-2-404

TEL: 090-6034-4616 fax: 042-324-2125

E-mail: shiraki@way.ocn.ne.jp

令和3年度

「美しい用水の会」活動方針

代表 佐藤 敬臣

国分寺市の公園・用水・樹林地を管理している市・緑と建築課の令和3年度～6年度「緑の基本計画実施計画」が策定され、砂川用水の親水化を検討・実施するという方針が明記されました。いよいよ、今までの活動の集大成として、用水を次世代に残すカタチを考えてゆく重要な1年となります。この実施計画の方針を遵守し、美しい用水の会は、本年度以下の3点を柱として実施していきます。

- 1) 市重要史跡・恋ヶ窪村分水と2014年から展開してきた砂川用水の美化活動を継続する。
- 2) 砂川用水に隣接する公園の一層の親水化案を市に提案する。
- 3) 恒久的に実施されなければならない用水の維持管理の在り方の提案を行う。

特に、親水化向上のための提案としては、用水を利用する市民（児童、家族、来訪者など）の要望を十分勘案する必要があり、その一環として、是非とも、国分寺にふるさとをつくる会の皆さまのお考えをお伺いできればと考えております。よろしくお願い申し上げます。



恋ヶ窪分水の整備された遊歩道



親水化が進む並木公民館親水施設

今年のホタルの放流

姿見の池ホタルの会

代表 近藤 洋

今年もホタルが飛ぶ季節がやってきました。今年は例年よりも季節の進行が早いことから羽化が早まることも予想されます。

「ホタルの会」では今年も姿見の池へ流れ込む水路への幼虫の放流を行いました。今年は冬場からの水不足で去年まで放流を行っていた場所が完全に干上がり使えなくなりましたが幸い隣接の上流部は水流が残っておりそこへ放流することとなりました。幼虫を囲い込む装置を3か所設置し幼虫約150匹を放流しました。その内の2か所は幼虫が上陸する場所が直接水路の土手となるよう自然状態に近い装置になっています。この様な装置は昨年より羽化に成功しており今年は場所を変えての再現実験となります。

しかしながら、今年は水位が低い状態で上陸しサナギとなったホタルが梅雨時の水位の上昇により水没し死んでしまうという心配が増えることとなります。

なお今年の放流場所は姿見の池の西北部入口の通路の橋のすぐ南側です。羽化した時には、飛び回ることの少ないヘイケボタルでも草むらで光っているのを見つけやすくなると思います。6月上旬から7月中旬頃までの期間に午後7時半以降に現地を通る機会がありましたら注意してみてください。



ホタル幼虫飼育装置

豊かな自然、憩いの場としての

「姿見の池保全地域」へ前進

国分寺姿見の池緑の会

代表 高橋 邦宏

「国分寺姿見の池緑の会」が発足し4年目となります。多くの方々のご指導・援助を受け、毎月第一日曜日を中心に地道に進めてきました。

現在「姿見の池緑地保全地域」は、自然豊かな市民の憩いの場として大きく変わりつつあります。

4月実施した植物相調査では、226種の草木が観察されました。

キンランの群生は、各所に広がっています。ギンラン、一輪草等の貴重な植物も散見できます。野鳥観察専門家からは、カワセミ、オシドリ、マガモ、カルガモ等26種もの野鳥の記録写真も提供されています。

いまでは、動植物の観察、憩いの場として散策する市民、幼稚園・保育園児が駆け回る姿が沢山見られます。

今後も、豊かな緑地の保全を継続し、湿地区域の保全と緑地の復活、野鳥の生息できる環境づくりにとりくみ、市民の憩いの場、自然観察学習のフィールドとして一層充実させたいと願っています。

「ふるさとの会」のご指導・ご援助をひきつづきお願い致します。



日影山を駆け回る子ども達

姿見の池緑地保全地域情報!!

平成28年2月から、東京都環境局管轄ボランティア団体による保全活動が始まり、遊歩道が整備され、植物の保存を進めています。今では“市民の憩いの場”“幼児たちの遊びの場”として多くの人が訪れています。この保全地域の特徴は、

- ① 春季には、キンラン等の希少種、珍しいウラシマソウやイチリンソウ・ニリンソウ等の群生する花が見られます。
秋には、アキノタムラソウやハギの群生、ムラサキシキブ等も見ることが出来ます。
- ② この保全地域には、国分寺市唯一の湿地があります。
春季には、希少種のシロネ他湿地特有の植物、夏季には、一面のミソハギも見ることが出来ます。是非訪れてみてください。
(国分寺姿見の池 緑の会広報担当 白木昭憲)



ミソハギ



ムラサキシキブ

幻の赤米 武蔵国分寺種赤米

この赤米は平成9年国分寺市東恋ヶ窪の畑で見つかりました。この赤米稲は、武蔵国分寺跡にちなみ「武蔵国分寺種赤米」と呼ばれ、平成27年には畑で育てる陸稲として、国分寺市内での栽培が再開されました。

古代米のうち、在来品種の赤米が、西日本の3か所(岡山・長崎・鹿児島)と、東日本の国分寺市で、その存在が確認されています。

初めて赤米づくりに挑戦中!

4/28に黒土と園芸用土を半々に混ぜ合わせてバケツに入れ、お水を注ぎ準備完了。4/30に前以って(芒)を切って置いた種を一ヶ所に6粒まき、芽が出るのを心待ちにしていました。5/10赤米らしき芽が発見されました。

何とも愛おしい!毎日、朝一番に様子を見に行くのが日課です。

芽はグングン伸びています。5/22現在一番ノッポは22センチです。収穫までが本当に楽しみです。(赤米セミナーレ会員 小泉和子)



6月の花:アジサイ

6月行事予定

- 6月 6日(日) 姿見の池ホタルの会
9:30 姿見の池:作業
- 7日(月) 防災推進の街づくり
仲間の会 井戸端会議
9:30 室内プール前井戸
- 8日(火) 多摩の自然を楽しく学ぶ会
9:30 中央線・西八王子駅
(中止)
- 11日(金) ふるさとをつくる会・
関連団体定時総会
14:00 恋ヶ窪公民館
(延期)
- 19日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター
- 20日(日) 森の自然塾
(中止)
- 27日(日) 防災推進の街づくり
仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 27日(日) 姿見の池ホタルの会
9:30:作業 姿見の池
14:00:定時総会 恋ヶ窪公民館
- 29日(火) 会報配布準備
13:30 恋ヶ窪公民館
(印刷は13:00~)
- 29日(火) 多摩に歩く会 会議
15:00 恋ヶ窪公民館

告知板

特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会及び関連団体定時総会は、会場が確保出来ないため延期し、7月開催予定です。詳細は後日お知らせいたします。

環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します



<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

「自然と共存するライフスタイル」

- 太陽光発電設備(自家消費含)の企画・施工・販売
- ホームリノベーションのご相談・提案

賛助会員

文京区本郷1-4-4 水道橋ビル5階
クリーンファースト株式会社

TEL:03-3812-6466

HP : <http://clean-first.jp>

ホームページ

NPO-kokubunjifurusato.jp

QRコード

